国土交通省
Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism

Press Release

i-Construction

平成 31 年 3 月 12 日
大臣官房 技術調査課

# i-Construction の取組をリードする事務所を決定！

## ～i-Construction の「貫徹」に向け、3 次元データや ICT 等の導入を加速化～

**国土交通省では、Society 5.0 の実現に向け、測量・調査から、設計、施工、維持管理に至るまで、建設生産・管理システム全体における３次元データの活用やＩＣＴ等の新技術の導入を加速化します。**

○ i-Construction をより一層促進し、平成 31 年の生産性革命「貫徹」に向けて、3 次元データ等を活用した取組をリードする国土交通省直轄事業を実施する事務所を決定しました。
○ これにより、測量・調査から維持管理までの先導的な３次元データの活用やＩＣＴ等の新技術の導入を加速化します。

① 「i-Construction モデル事務所」について （全国 10 事務所）
1）集中的、継続的に BIM/CIM を活用し、３次元データの活用や ICT 等の新技術の導入を加速化する『３次元情報活用モデル事業』を通じて、事業の効率化を目指します。
2）積極的に発注者指定型を適用し、３次元データを活用する事業を推進します。
3）３次元データの活用を前提とした事業プロセスの改善に取り組み、建設生産・管理システム全体の効率化に向けた不断の改善を目指します。

② 「i-Construction サポート事務所」について （全国 53 事務所）
1）工事の大部分で ICT 施工を適用する『ICT-Full 活用工事』の実施など、積極的な３次元データの活用等を推進し、i-Construction の普及・拡大を促進します。
2）３次元データスペシャリストを育成し、i-Construction のサポート体制を充実します。
3）地方公共団体や地域企業の i-Construction の取組をサポートする相談窓口※を設置します。

なお、上記の他、全事務所において、建設分野における ICT の活用拡大など、i-Construction の原則実施を徹底します。

※ 相談窓口の設置については、別途国土交通省 Web Site において公表します。

【問い合わせ先】
国土交通省 大臣官房技術調査課 建設システム管理企画室（那須、辛嶋、嶋田、若林）

電話 代表 03-5253-8111（内線：22-352，22-353，22-354，22-341） 直通 03-5253-8221
FAX 03-5253-1536

# i-Constructionの貫徹に向けたモデル事務所の決定について

国土交通省

- i-Constructionを一層促進し、平成31年の「貫徹」に向け、３次元データ等を活用した取組をリードする直轄事業を実施する事務所を決定。
- これにより、設計から維持管理までの先導的な３次元データの活用やICT等の新技術の導入を加速化。

## ① i-Constructionの取組を先導する「i-Constructionモデル事務所」　（全国10事務所）

- 調査・設計から維持管理までBIM/CIMを活用しつつ、3次元データの活用やICT等の新技術の導入を加速化させる『３次元情報活用モデル事業』を実施。
- 集中的かつ継続的に3次元データを利活用することで、事業の効率化を目指す。

## ② ICT-Full活用工事の実施や地域の取組をサポートを行う「i-Constructionサポート事務所」（全国53事務所※）

- 国土交通省直轄事業において工事の大部分でICTを活用する『ICT-Full活用工事』の実施など、積極的な３次元データやICT等の新技術の活用を促進。
- 地方公共団体や地域企業のi-Constructionの取組をサポートする事務所として、i-Constructionの普及・拡大を図る。

※ モデル事務所を含む。

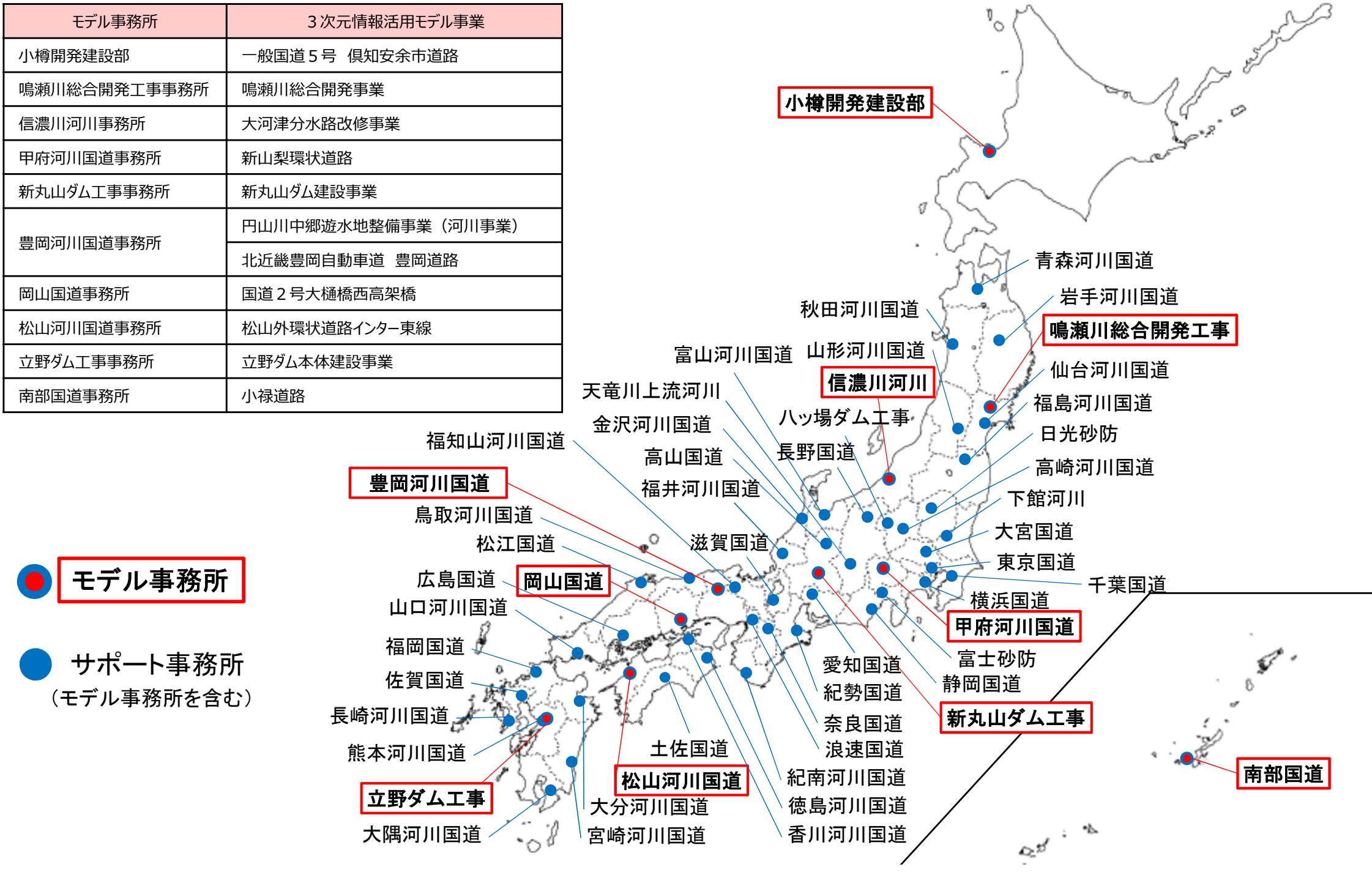
## ★ その他、全事務所において

- ICT土工をはじめとする建設分野におけるICTの活用拡大など、i-Constructionの原則実施を徹底し、国土交通省全体でi-Constructionの貫徹に向けた着実な取組を推進。

# モデル事務所・サポート事務所について

国土交通省

| モデル事務所 | ３次元情報活用モデル事業 |
|---|---|
| 小樽開発建設部 | 一般国道５号　倶知安余市道路 |
| 鳴瀬川総合開発工事事務所 | 鳴瀬川総合開発事業 |
| 信濃川河川事務所 | 大河津分水路改修事業 |
| 甲府河川国道事務所 | 新山梨環状道路 |
| 新丸山ダム工事事務所 | 新丸山ダム建設事業 |
| 豊岡河川国道事務所 | 円山川中郷遊水地整備事業（河川事業） |
| | 北近畿豊岡自動車道　豊岡道路 |
| 岡山国道事務所 | 国道２号大樋橋西高架橋 |
| 松山河川国道事務所 | 松山外環状道路インター東線 |
| 立野ダム工事事務所 | 立野ダム本体建設事業 |
| 南部国道事務所 | 小禄道路 |



# 『i-Constructionモデル事務所』について

国土交通省

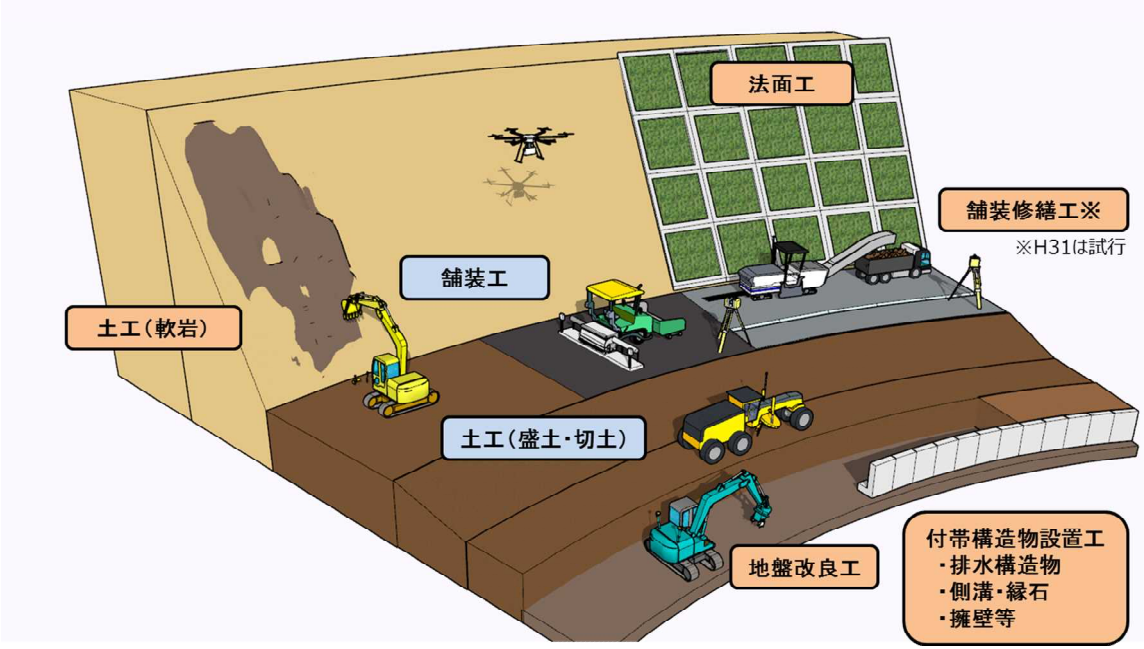
- 調査・設計から維持管理までBIM/CIMを活用しつつ、3次元データの活用やICT等の新技術の導入を加速化させる『３次元情報活用モデル事業』を実施
  - ➔ 継続的に3次元データを活用することで、業務プロセスの改善に取り組み、建設生産・管理システム全体の効率化に向けた不断の改善を図る

# 『i-Constructionサポート事務所』について

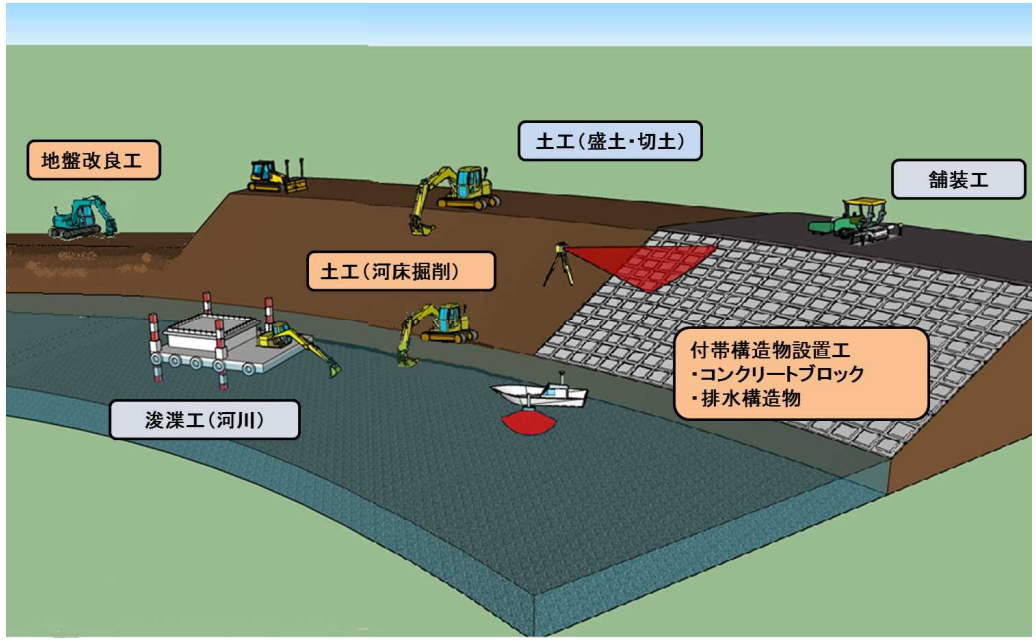
国土交通省

- 工事の大部分でICTを活用する『ICT-Full活用工事』を実施
  - ➔ 工事現場で施工される工種の大部分でICTを活用するため、工事全体の3D設計データを作成し、施工・出来形管理を3Dデータで実施
- 地方公共団体や地域企業のi-Constructionの取組をサポート

## ICT-Full活用工事 ～道路改良工事の例～




## ICT-Full活用工事 ～河川改修工事の例～




：ICT導入済み　　：来年度よりICT導入

# 【参考】ICT施工における基準類の整備（工種拡大）

国土交通省

- 平成28年度の土工を皮切りに、主要工種から順次、ICT活用に向けた基準類を整備

| H28 | H29 | H30 | H31 | H32以降 |
|---|---|---|---|---|
| 生産性革命元年 | 前進の年 | 深化の年 | 貫徹の年 | |
| ICT土工 | | | | |
| | ICT舗装工（H29アスファルト舗装・H30コンクリート舗装） | | | |
| | ICT浚渫工 | | | |
| | | ICT浚渫工（河川） | | |
| | | | ICT地盤改良工 | |
| | | | ICT法面工 | |
| | | | ICT付帯構造物設置工 | |
| １５基準<br>（新規9・改定6） | ３３基準<br>（新規15・改定18） | ３０基準<br>（新規13・改定17） | ２９基準<br>（新規14・改定15）<br>予定 | |

※測量分野については、平成30年度からICT活用拡大（1基準を新規策定、1基準を改定）
※維持管理分野（点検）については、平成30年度からICT活用拡大（2基準を新規策定）
※建築分野（官庁営繕）については、平成30年度からICT活用拡大（1基準を新規策定、1基準を改定）